

TAKIGAMI CORPORATE GUIDE



名を残すことがゴールではない。

光を浴びなくてもいい。

あたりまえの暮らしを守るために、

目の前のことに向き合って、

一步一步、前へ踏み出す。技を磨く。

これが私たちの誇りなんだ。

人々の架け橋へ。豊かさの支えへ。



人の、暮らしの、
架け橋となれ。

つながる。行き交う。通い合う。

私たちは、橋を造りながら、昨日までなかった喜びも創っている。

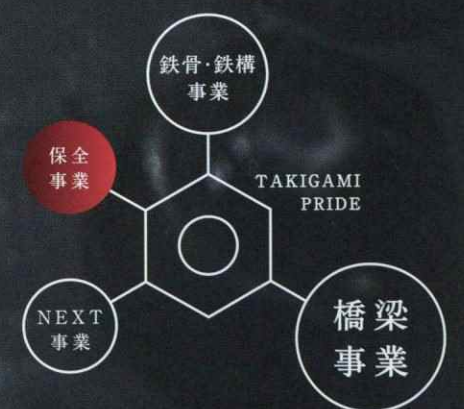
▶ 高精度な技術で厳しい基準をクリアする、橋造りのプロ集団。
(瀬上工業の橋梁事業はp.9へ。)



安全へのまなざしは、
その先の暮らしへ。

人の暮らしを思いながら、「そこまでやるか」を「当たり前」に。
造る私たちは、安心を届ける私たちでもある。

▶ より永く、より安全に。暮らしを支える地域の橋守。(龍上工業の保全事業はp.13へ。)



はがね
鋼の強さを、
暮らしへ、街へ。

心地よく過ごせる。また訪れたい。私たちの鋼が築いているもの。
それは、人々の豊かさなんだと思う。

▶ 鋼の技術は、暮らしの礎。より安全でより快適な空間の創造に貢献。
(浦上工業の鉄骨・鉄構事業はp.15へ。)

名古屋インターシティ



高精度な技術で 厳しい基準をクリアする、 橋造りのプロ集団。

橋梁
事業

橋梁事業は、私たち瀧上工業の軸事業です。設計から製作・架設までを一貫して行い、これまでも数多くのビッグプロジェクトに携わってきました。

橋は、形式や工法、架設環境が様々で、一つとして同じものがないオーダーメイド品。だからこそ現場では、常に安全と安心を提供できる高い品質と技術力が求められるのです。

私たちはそうした橋造りのプロとして社会の基盤を支えながら、これからも人と暮らしの架け橋を担っていきます。

100mで誤差0.02m。
確かな品質を生む匠の技術。

緻密な設計、ミリ単位のこだわり、徹底した品質管理など、各工程に匠の技を発揮して確かな品質を生み出す私たちの技術力。なかでも仮組立精度は100mで誤差わずか0.02mと、高い精度を誇ります。



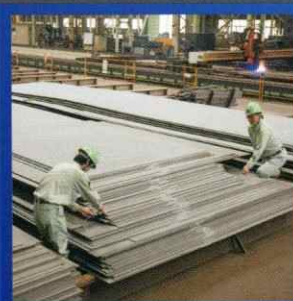
数値制御により、
品質のさらなる向上に注力。

当社では、熟練した人の技術に加え、先進機器も積極的に活用しています。数値制御、ロボット機械、センシング機能等を導入し、品質を高いレベルで平準化するとともに、業務の効率化・省力化に努めています。

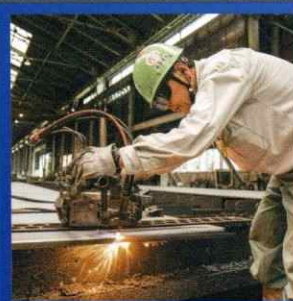
▶ 製作フロー



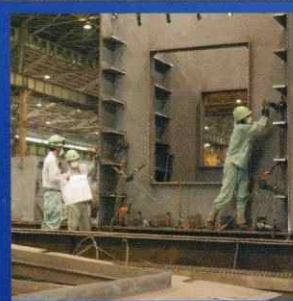
設計



材料手配



加工



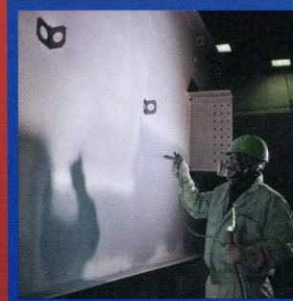
組立



溶接



検査



塗装



準備



架設

解析・計算を行い、床版や主桁等、設計方針に沿った設計図を作成。

必要な材料を購入し、形状寸法(板厚、幅、長さ)を確認。

切断・板継ぎ・孔明・曲げ等は、材料に合わせて工法・機材を選択。

加工した部材を銚桁、箱桁に組立て、最長20mまでの部材に対応。

溶接ロボットや自動溶接機のほか、部位により手作業で行う場合も。

溶接外観、内部のキズを検査後、仮組立を行い、出来形管理を実施。

部材を再び解体し、プラスト処理後、移動式塗装ハウスで塗装。

現地に運搬後、ベントや足場を設置。支承を据え付け、架設へ。

現地条件に最適な工法で架設。溶接部、ボルト部も塗装し、完成。

一貫した
生産管理体制で、
高品質を保証。

1. 設計

設計は、詳細設計と契約設計図の照査作業に分かれます。設計思想を製作・架設段階でより確実なものとするために、品質計画を立て、詳細設計を進めていきます。必要に応じて、3Dモデル(CIM)による照査を行います。

2. 製作(加工・組立・溶接・塗装)

切断、板継ぎ、孔明、曲げと原寸作業に基づいた加工情報ラインの導入により、パネルごとに作業を完了してから移動式塗装ハウスで塗装します。

3. 検査(仮組立検査)

部材が設計図通りに仕上がっているかを確認します。工場ですべての部材を組み立てる「実仮組立」と、三次元計測を行い、コンピュータ上の数値により組立状態を確かめる「シミュレーション仮組立」があります。

4. 架設

工場で作成された橋梁ブロックを運搬し、所定の位置へ据え付けます。ベント、送出し、片持ち、ケーブル、一括架設等、数ある架設工法の中から、現地状況や構造形式、工期を考慮して、最適な工法を選定します。

ビッグプロジェクトで培った 経験と信頼で、全国各地に 多数の橋梁を架設。

TAKIGAMI
PRIDE

橋梁
事業

【プロジェクト一例】

1 日向大橋 (宮崎県児湯郡)



5径間連続箱桁橋

2 国分川高潮対策工事 (高知県高知市)



開床式下路ランガー桁橋

13 石川高架橋 (P10-P13) (沖縄県石川市)

3径間連続箱桁橋

17 徳益高架橋 (P46-P53) (福岡県柳川市)

7径間連続箱桁橋

21 廿日市高架橋 (広島県廿日市)

5径間連続箱桁橋 他2橋

25 百間川橋梁 (岡山県岡山市)

5径間連続箱桁橋

14 第1大畑橋 (鹿児島県大島郡)

3径間連続箱桁橋

22 多々羅大橋 (愛媛県)

3径間連続複合斜張橋

26 撫養橋 (徳島県)

4径間連続鋼床版箱桁橋

15 須屋高架橋下り線 (熊本県熊本市)

単純箱桁橋

23 朝山第1高架橋 (島根県大田市)

3径間連続少数版桁橋

27 切畑1号橋 (和歌山県田辺市)

5径間連続箱桁橋

16 小原橋 (宮崎県東臼杵郡美郷町)

単純トラス橋

24 北備讃瀬戸大橋 (香川県)

3径間連続補剛トラス吊橋

28 沼田原橋 (奈良県吉野郡十津川村)

方杖ラーメン箱桁橋

29 明石海峡大橋 (兵庫県淡路市)

3径間2ベンジ補剛トラス吊橋

33 牧田川橋内回り (岐阜県養老郡)

3径間連続鋼床版箱桁橋

37 三郷JCT Mランプ (埼玉県三郷市)

2径間連続箱桁橋 他1橋、橋脚2基

41 日和大橋 (宮城県石巻市)

4径間連続箱桁橋

30 宮前地区上部工事 (大阪府門真市)

5径間連続少数版桁橋 (上下線) 他2橋

34 24号橋 (長野県飯田市)

4径間連続少数版桁橋

38 柳橋高架橋その1 (茨城県つくば市)

7径間連続少数版桁橋 他1橋

42 入見内川橋 (秋田県仙北市)

2径間連続箱桁橋 他1橋

31 斜久世橋 (東) (京都府京都市)

5径間連続箱桁橋 他4橋

35 新南部橋 (山梨県南巨摩郡)

3径間連続鋼床版箱桁橋

39 静戸高架橋 (栃木県下都賀郡)

3径間連続箱桁橋 他1橋

43 普代高架橋 (岩手県下閉伊郡)

10径間連続鋼・コンクリート複合ラーメン橋

32 明治橋 (福井市深谷町)

5径間連続非合成箱桁橋

36 本牧JCT (I-2) (横浜市市中区本牧ふ頭)

4径間連続ラーメン箱桁橋 他1橋、橋脚2基

40 胎内川橋 (新潟県胎内市)

5径間連続箱桁橋

44 上北地区上部工 (青森県上北郡)

単純箱桁橋 他3橋

3 福井高架橋 (鳥取県鳥取市)



6径間連続少数版桁橋

4 三宅寺川橋 (奈良県天理市)



2径間連続鋼床版箱桁橋 他3橋

5 赤羽川橋出垣内 (三重県北牟婁郡)



6径間連続少数版桁橋 他1橋

7 樫谷橋 (岐阜県下呂市)



バランスドアーチ橋

10 銚子大橋 (千葉県銚子市)



4径間連続斜張橋

8 須津川橋下り線 (静岡県富士市)



13径間連続少数版桁橋 他1橋

11 天王橋 (宮城県石巻市)



5径間連続箱桁橋

6 高浜立体上部工事 (愛知県高浜市)



9径間連続少数版桁橋

9 羽田空港東側歩道橋 (東京都大田区)



フィンバックトラス橋

12 清幌橋 (P3-P6) (北海道空知郡南幌町)

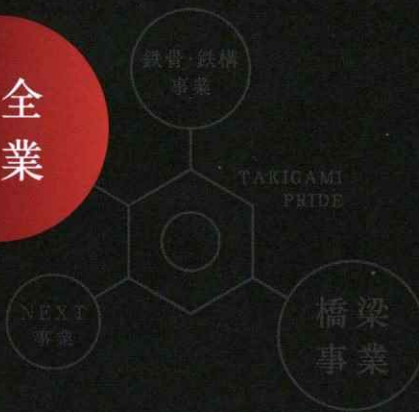


3径間連続鋼床版箱桁橋

より永く、より安全に。

暮らしを支える
地域の橋守。

保全
事業



わが国の橋は、1960年代の高度成長期に数多く建設され、

20年後には建設されてから50年を超える橋が約半数に達します。

こうした橋を守り、人々の生活を支え続けていくために、当社では保全の専門部署を設置。

橋梁建設の経験とノウハウを駆使しながら、一人ひとりが「地域の橋守」として、

専門性の高い保全事業に従事しています。

専門性の高い特殊橋梁の保全も、
最新技術でより安全に。

近年、トラス橋の補修や斜張橋の耐震補強等、
高い専門性が求められる特殊橋梁の保全も多く手掛けています。
最新技術を駆使して、長寿命化への提案から設計・施工まで、
一貫した保全工事が可能です。



生活に密着した橋だからこそ、
復旧業務はより迅速に。

橋梁の損傷は、インフラの寸断を招き、
生命が危険にさらされる場合もあります。
当社は、ケーブル補修や支取替等、多くの緊急工事を実施。
一日も早く復旧できるよう、緊急時の体制も整えています。



【保全実績一例】

1 名港西大橋 (愛知県海部郡)



斜張橋 / 斜張橋の耐震補強

2 吉ヶ原橋 (岐阜県飛騨市)



トラス橋 / トラス補修工 (座屈拘束ブレース設置工)

3 境水道大橋 (島根県松江市)



3径間トラス橋 / トラス橋の耐震補強 / トラス斜材の当て板補強 / 負反力防止装置

4 樋島大橋補修 (熊本県上天草市)

吊橋、単純桁橋 / 支取替工

7 金華橋修繕 (岐阜県岐阜市)

鋼床版桁橋 / ゲルバー端部の補修

10 大洞橋補修 (愛知県瀬戸市)

桁橋 / 支取替工他

13 勝山橋補修他 (千葉県安房郡)

RC橋補修 / 床版補修、側道橋架設他

5 巡礼橋 (和歌山県田辺市)

トラス橋 / 落橋防止システム工、支取替工

8 愛岐大橋 (岐阜県各務ヶ原市)

トラス橋 / トラス橋の弦材補修

11 原田橋補修工事 (静岡県浜松市)

単純吊橋 / ケーブル補修

14 湊高架橋補修工事 (岩手県久慈市)

連続桁橋 / 落橋防止、変位制限工

6 木曾川橋補修 (三重県桑名郡木曾岬町)

トラス橋 / トラス橋の弦材補修

9 深沢橋応急復旧工事 (岐阜県土岐市)

トラス橋 / 支承廻りの補修

12 葦科川橋拡幅工事 (静岡県静岡市)

連続桁橋 / 拡幅工事

橋を見守る一員として、
お客さまと災害協定を締結。

当社では、国や地方自治体、公共団体等、多くの顧客と災害協定を結んでいます。万が一の大地震に備え、応急橋梁、仮設材を保管。災害等が起きた場合でも速やかに緊急工事を行えるよう、地域に密着し、安全を守ることに貢献していきます。

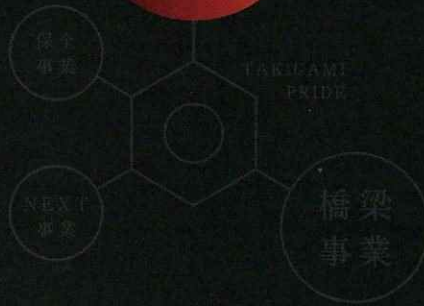
はがね

鋼の技術は、暮らしの礎。

より安全でより快適な

空間の創造に貢献。

鉄骨・鉄構
事業



当社の鉄骨・鉄構事業は、橋梁事業と並ぶもうひとつの柱。

なかでも「発電所鉄骨」を得意としており、電力の供給にも貢献しています。

この他、高層ビル、工場建屋、競技場など、様々な建築物で、

当社の「鋼」が“まちづくりの土台”として活躍しています。

鍛冶屋としての伝統が息づく、私たちの鉄骨製作。

ボルトやナットの建築金物を製作する鍛冶屋として始まった当社。創業から120余年、これらの技術は今なお磨かれ続け、現代の鉄骨製作にも発揮。鉄骨製作工場として、大臣認定「Sグレード」を取得しています。

※Sグレード:建物規模、使用鋼材(材質・板厚)の制限を受けないで製作可能

高度な技術を有し、あらゆる構造の建築鉄骨に対応。

当社では、厚板の溶接技術や大規模鉄骨の製作技術を構築。

現在は、発電所をはじめ、高層ビルや大スパン構造物等

あらゆる建築鉄骨溶接構造に対応できる企業として、様々なニーズの鉄骨製作に取り組んでいます。

【製作実績一例】

1 ナゴヤドーム(愛知県名古屋)



3 JRセントラルタワーズ(愛知県名古屋)



4 半田市新庁舎(愛知県半田市)



6 丸の内ビルディング(東京都千代田区)



2 大同特殊鋼 知多工場(愛知県知多)



5 ノースゲートビルディング(大阪府大阪市)



7 西名古屋火力発電所(愛知県海部郡)

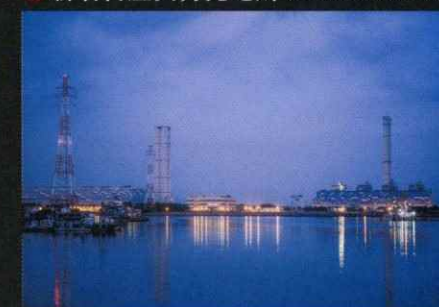


火力発電所鉄骨の実績は、
業界トップクラスのシェアを誇ります。

8 上越火力発電所(新潟県上越市)



9 新名古屋火力発電所(愛知県名古屋)



10 碧南火力発電所(愛知県碧南市)



11 松島火力発電所(長崎県西海市)

16 阿南発電所(新徳島火力発電所)(徳島県阿南市)

21 徳山水力発電所(岐阜県揖斐郡)

26 苫東厚真火力発電所(北海道勇払郡)

12 松浦火力発電所(長崎県松浦市)

17 尾鷲三田火力発電所(三重県尾鷲市)

22 東扇島火力発電所(神奈川県川崎市)

27 砂川火力発電所(北海道砂川市)

13 西条発電所(愛媛県西条市)

18 四日市火力発電所(三重県四日市市)

23 富津火力発電所(千葉県富津市)

14 竹原火力発電所(広島県竹原市)

19 川越火力発電所(三重県三重郡)

24 千葉火力発電所(千葉県千葉市)

15 福山共同発電所(広島県福山市)

20 三国共同火力発電所(福井県坂井市)

25 苫小牧火力発電所(北海道苫小牧市)

【技術開発】

技術開発・研究に注力し、
複雑化する現場工事に貢献。

当社の「未来」を切り開くには、
現場のニーズに即した技術開発・研究の取り組みが不可欠です。
橋梁事業の担い手不足が加速し、
生産性・安全性の向上が課題となっている中、
当社では施工現場での省力化を可能にする
プレキャストコンクリート製品「PCF」にいち早く着目し、
開発・販売を2002年から取り組んでいます。



●PCF壁高欄工法
現場での施工の省力化・安全性を実現させるプレキャストコンクリート「PCF (Precast Concrete Form)」。

独自の製品と情報システムで、
建築現場の高度化を推進。

近年では、現場での施工機材の重量化に対応できる
重仮設材「TMブリッジ」の開発、
さらには設計・施工計画業務の効率化を実現できる「CIM」の活用により、
橋梁分野でのICT化を積極的に進めています。
産業のまち、愛知に位置する地域性を最大限に生かし、
大学などのパートナーシップにより、確かな品質を確保して、
明るい未来に向かって、新製品を開拓して参ります。



●TMブリッジ
災害復旧時のインフラ整備に不可欠な重仮材「TMブリッジ」、少主術化で施工性・経済性に優れています。
●CIM (Construction Information Modeling)
施工計画で架設時における市道規制についてCIMを活用した事例。

受け継ぐ技術、さらなる高みへ。

「創業200年」をめざすにあたり、グローバル化の達成は、当社の課題の一つです。
このロゴマークは、技術を次世代に繋げてゆく思いを当社施工の
名港西大橋のシルエットに託し、天を指すタワーは会社の発展、
周りを囲む円は社員の輪を表しています。
「NEXT200」は創業200年企業を目指す強い決意、
「Forward to do」は失敗を恐れず積極的に行こう!という意味です。



【海外事業】

海の向こうで発揮される、
私たちの技術とノウハウ。

2008年、ベトナムに合弁会社 (USF) を設立し、
「南北統一鉄道のトラス桁製作」に携わりました。
また、14年にはフィリピン・マニラに駐在員事務所を開設し、
アスファルト舗装の添加材を輸出販売しています。
今後も世界各国のインフラ需要に応えるべく、
日本で培った技術、経験を各地で生かしていきます。



ベトナム・南北統一鉄道鉄道橋「Muong Man 橋」(2015年竣工)
Muong Man 橋の仮組立前で、
当社で研修したエンジニアや現地採用したスタッフらと。



ものづくりの情熱を、ひとづくりにも。

当社が永く社会に貢献できているのは、技術力の高さだけが理由ではありません。
それは、技術の向上や人々の安全・安心にこだわるのと同じ熱量を、人材育成にも注いできたからです。
丁寧で高品質なものづくり。失敗を恐れぬ挑戦心。社員一人ひとりに根付くこうした「瀧上らしさ」を大切にして、
これからの世代にも継承していきます。

創業120余年で培った技術を、
次の世代へ。

熟練の先輩が若手に指導する「マイスター制度」、
新入社員が様々な部署を経験する「ジョブローテーション制度」、
「産学連携」による大学機関との連携やインターンシップによる
留学生の受け入れなど、技術者・技能者を育成する制度が充実しています。

挑戦を歓迎する社風で、
若手社員の活躍を応援。

“ノーチャレンジ、ノーエラー”の姿勢は評価せず、
次なる一步を踏み出せる失敗なら許容する社風が
当社には根付いています。若手社員が仕事を任せられる機会も多く、
自ら考え、完結させることを重視しています。





霞4号幹線橋梁(三重県三重郡川越町)

約63,000坪。 国内最大級の生産拠点。

橋梁製造の単一工場として国内最大規模の広さを誇る本社工場。
敷地には、箱桁パネルラインや塗装場、仮組立の専用工場なども設け、一貫した生産管理体制を確立しています。
2012年には敷地内に本社を移し、各部門も移転・集約。
技術力の強化と業務の効率化に努め、顧客サービスの向上を図っています。



培った架設技術を活かし、 様々な施工条件に対応。

当社が初めて橋を架けたのが、1947年。
以来、多くの架設実績を積み重ね、社会のインフラ作りや人々の暮らしを支えることに貢献し続けています。
時代に合わせて技術を進化させ、あらゆる橋梁形式や現場の状況に応じて、安全かつ高精度な架設を行っています。

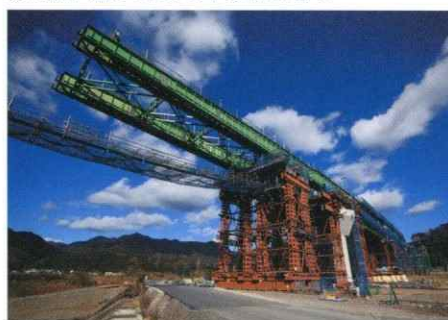
最適な工法・機材・技術で、インフラ作りと暮らしを支える。

稲荷木橋北(千葉縣市川市)



多軸台車を利用した一括架設工法

赤羽川橋(三重県北牟婁郡紀北町)



送出し工法

天龍峡大橋(長野県飯田市)



ケーブルエレクション斜吊り工法

生産能力は最大年30,000t。多様な機器を揃え、幅広いニーズに対応。



門型10電極自動溶接機
一度に10箇所の溶接ができる自動溶接機。



NCガンリー形高速ドリル
橋梁・鉄骨等大型部材への孔明加工に使用
する高速穿孔機。



橋梁パネル溶接ロボット
鉸桁、箱桁などの橋梁部材を溶接するアーク溶接ロボット。



本社工場全景
敷地面積 207,933m²

当社は明治28年の創業以来、120年以上にわたりインフラ整備を通じて社会に貢献して参りました。その伝統は今も脈々と受け継がれ、「今までも、これからも、ずっと誠実」というメッセージとともに、安心・安全な製品づくりをこれからも継続してまいります。時代とともにインフラ整備に求められる課題は移り変わってきました。これからの課題は、少子高齢化に伴う人材不足、建設業にも確実に迫る生産性革命、そして働き方改革などです。当社は、受け継がれた不変のものづくり精神により、質の良いインフラを提供するだけでなく、まさにダイバーシティの価値観を持って、若さあふれる活力と柔軟な発想を取り込み、引き続き社会に貢献していきたいと考えております。

代表取締役社長 瀧上 晶義



沿革

Timeline table showing company milestones from 1895 to 1996. Includes details on factory openings, share listings, and capital increases.



創業当時のボルトとナット



1947 橋梁工事の第一号「今伊勢橋」竣工



1952 火力発電所の第一号 中部電力「名港火力発電所」



1963 「半田工場」操業開始



1985 本州四国連絡橋の第一号「大鳴門橋」



2012 本社社屋竣工



マスコットキャラクター まるさだくん

Timeline table showing company milestones from 1965 to 2022. Includes details on branch openings, ISO certification, and acquisitions.

概要

商号 瀧上工業株式会社 The Takigami Steel Construction Co., Ltd.

[事業内容] 橋梁、鉄骨、鉄塔その他鋼構造物の設計・製作・施工および、これらに附帯する一切の事業

ネットワーク

本社・支店・営業所

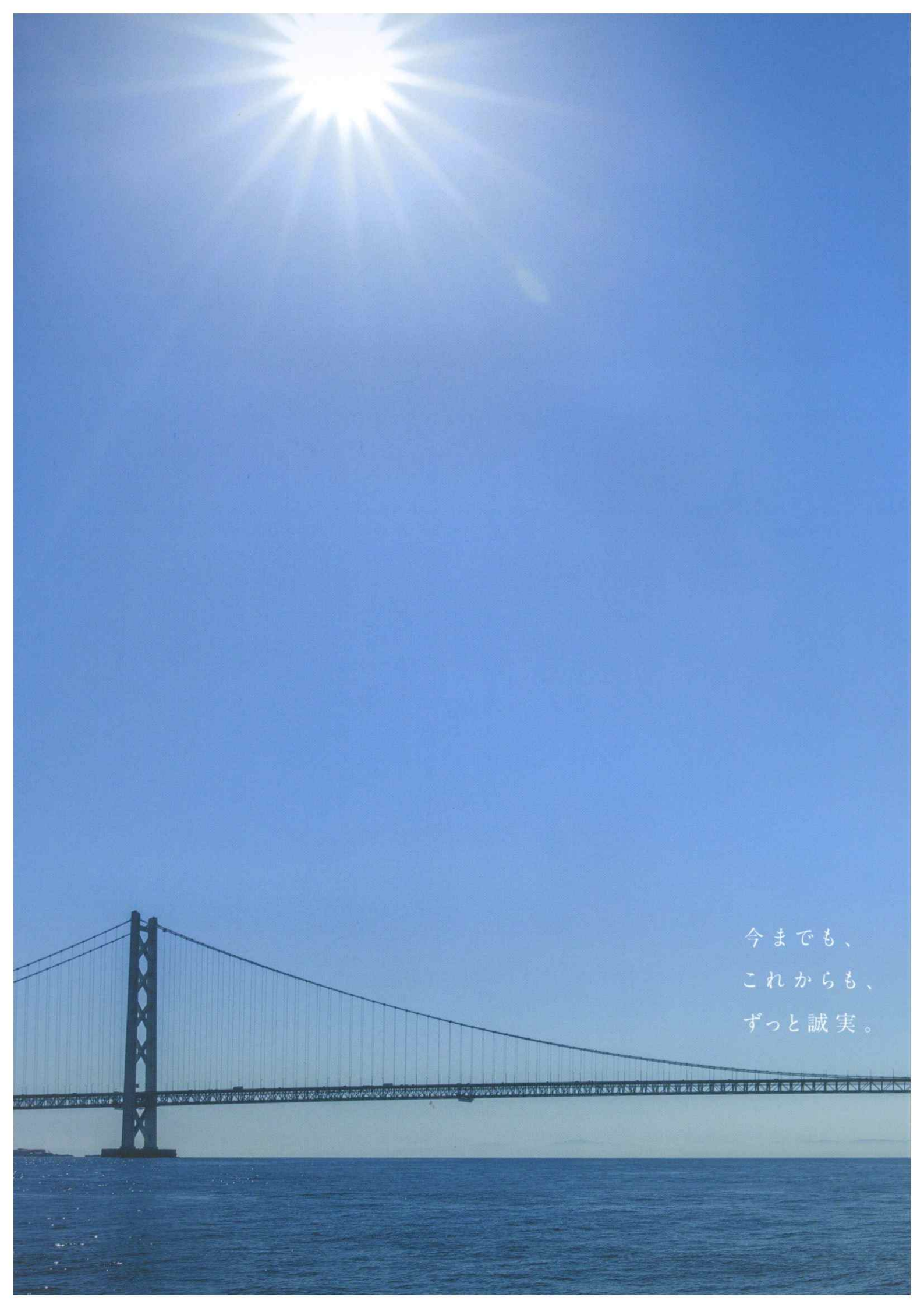
Table listing the company's headquarters, branches (Osaka, Tokyo, Sendai, Fukuoka), and operating offices across Japan.

工場

Table listing the locations of the company's plants: Hamaoka, Iwanohe, and Hamanaka.

グループ会社

Table listing affiliated companies, including subsidiaries like Universal Steel Fabrication and related companies.

A photograph of a suspension bridge, likely the Akashi Kaikyo Bridge, spanning across a wide body of water. The bridge's structure is silhouetted against a clear, bright blue sky. A large, bright sun is positioned in the upper left quadrant, creating a starburst effect with rays extending across the sky. The water in the foreground is dark blue with gentle ripples. The overall scene is serene and clear.

今までも、
これからも、
ずっと誠実。